

市議会だより

 **しぶかわ**

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2026年〈令和8年〉
5月1日 第82号



広報と一緒にとじて保存しましょう

令和8年

3月渋川市議会定例会

表紙の写真：金島小学校入学式

■本会議のあらまし	2ページ
■常任委員会の審査	3ページ
■令和8年度予算の概要・審査	4～6ページ
■一般質問（14人の議員が市政を問う）	7～14ページ

※ 附帯決議：議会が議案を可決した際に、その議案の施行等に対する議会としての意思を表明するものとして行う決議のこと。
 なお、法的拘束力はありません。

令和8年 3月定例会

あらまし

令和8年3月定例会は、2月27日から3月25日までの27日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告3件、選挙管理委員に関する選挙のほか、市長専決処分の報告と承認が1件、条例の制定・一部改正が18件、令和7年度補正予算5件、令和8年度予算10件、令和8年度補正予算1件、副市長等の人事案件5件、そのほか市道の認定・廃止等4件が市長から提出されました。また、議員からは新年度予算に対する附帯決議など4件が提出され、一部を除き各常任委員会に付託、慎重に審査・審議を行いました。本会議では1議案を否決し、そのほかは原案のとおり可決しました。本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

「渋川回生」改革元年 令和8年度当初予算を可決

副市長の選任

不在となっている副市長に堀越正勝氏を選任するものです。全員一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

令和8年6月30日で任期満了となる委員の後任に泉あけみ氏を推薦するもので、全員一致で同意しました。

監査委員の選任

令和8年3月31日で任期満了となる委員の後任に高木捷治氏を選任するもので、全員一致で同意しました。

教育委員会委員の任命

令和8年3月31日で辞職する委員の後任に千明大志氏を、令和8年5月19日で任期満了となる委員の後任



子ども誰でも通園制度が実施されているこもち幼稚園

に根井勝広氏をそれぞれ任命するものです。いずれも全員一致で同意しました。

特定乳児等通園支援事業の利用料を制定

今年度から全国で本格実施する「こども誰でも通園制度」の利用料を市内居住

者は無料、市外居住者は1時間300円とするもので、全員一致で可決しました。

消防団の組織機構の見直しと団員の処遇改善

団員の定数削減と、年額報酬の見直しと出勤報酬の新設をする条例改正です。全員一致で可決しました。

令和8年度予算を可決

一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算は多数決で、そのほかの予算は全員一致でそれぞれ原案のとおり可決しました。

令和8年度一般会計予算に対する附帯決議を可決

令和8年度に予定している旧赤城キャンプ場の施設

解体について、キャンプ場は廃止済みだが、地元小学生の活動や登山客が現在も使用しているトイレは解体せずに残すこと等を求める附帯決議が提出され、全員一致で可決しました。附帯決議全文は6ページ参照。

市議会議員の報酬を増額

市議会議員の報酬を増額する条例改正と、報酬の増額に対応する補正予算(令和8年一般会計補正予算第1号)が提出され、それぞれ賛成多数で可決しました。報酬は30年以上改正されておらず、昨今の地方議会議員のなり手不足の状況での多様な人材の確保等のた

議員報酬の増額一覧

	改正前 (令和8年3月まで)	改正後 (令和8年4月以降)
議長	435,000円	470,000円
副議長	390,000円	440,000円
常任委員長および 議会運営委員長	365,000円	420,000円
常任副委員長および 議会運営副委員長	360,000円	415,000円
議員	360,000円	410,000円

め、適正な報酬額への増額を議会から求め、左図のとおり改正に至りました。よりいっそう質の高い議会運営と責任ある議員活動の実現に努めます。

※「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」における過疎地域の対象区域。人口減少率や財政指数等により決定されます。

常任委員会の審査



▲議案審査の映像は
はこちらから
ご覧ください

常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では、市から各事業の報告・説明を受けます。

各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

総務市民

審査結果 付託された8議案はすべて全会一致で可決しました。

改正する条例
渋川市消防団条例の一部を

定数662人を639人に削減、年額報酬を引き下げ、出勤報酬を新設します。
質疑 定数削減となる第16分団、第24分団の状況は。

答弁 第16分団(水沢地区)は第14分団に統合され、統合後の分団を2部体制とし、旧14分団が第1部、旧16分団が第2部となります。第24分団(上白井地区)は第23



伊香保地区の融雪施設
(ロードヒーター)

分団に統合され、同様に旧23分団が第1部、旧24分団が第2部となります。

第2期渋川市過疎地域持続的発展計画の策定

渋川市の過疎地域(伊香保地区・小野上地区・赤城地区)の人口減少対策と地域活性化のための計画です。

質疑 財政的に有利な過疎対策事業債の活用方法は。

答弁 主に道路や伊香保地区の融雪施設などハード事業に活用を予定しています。

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。

経済建設常任委員会協議会 SUNおのがみ等の無償譲渡の辞退

無償譲渡を受ける候補となっていた法人が、辞退したことが報告されました。

質疑 今後再募集などをする前に、土地の条件を市が整理する必要があるのでは。

答弁 方法の一つであると考えます。あらゆる選択肢を検討し進めていきます。

金井地区・北橋町真壁地区の道路破損状況の経過

議員全員協議会で視察した道路破損の対応状況報告。
質疑 土砂搬入の大型ダンブ車両の通行が破損の原因と考えられる。土砂搬入の許可を出す県と連携し、搬入車両の通行を事前に把握し、道路破損の未然防止を。

答弁 事前に報告を受ける制度はありませんが、引き続き県と連携していきます。

教育福祉

審査結果 付託された10議案のうち7議案は全会一致で可決、2議案は多数決で可決、1議案は多数決で否決しました。

渋川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例 (議案第21号)

保育所等に通っていない0歳6か月から3歳未満の児童が利用できる「こども誰でも通園事業」の利用料を、居住地の市内外に関わらず1時間300円と定めようとするものです。料金設定の根拠や必要性に関する質疑が行われ、多数決で否決しました。

渋川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例 (議案第50号)

前述の議案第21号が本会議で否決された後、利用料を市内居住者は無料、市外居住者は1時間300円と定めようとする条例案が別途提出され、全会一致で可決しました。

予算

(令和7年度補正予算)

審査結果 付託された5議案はすべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第8号) ぐんま賃上げプロジェクト連携事業

県の「ぐんま賃上げ促進支援金」に、市が従業員一人当たり2万円の奨励金を上乘せし支給するもの。

国の補正予算への対応事業
国の「強い経済を実現する総合経済対策」への対応。

・県産飼料増産対策支援
・市道改良、橋の維持補修
社会保障給付費等を増額

障害児通所支援事業、自立支援給付事業、教育・保育給付事業の増額
基金への積み立て

財政調整基金、減債基金、庁舎建設基金、ふるさと創生基金への積み立て

質疑 高騰が見込まれる庁舎建設費用を確保できるか。

答弁 コンパクトな新庁舎を考慮しており、今後も適宜積立金を追加していきます。

令和8年度予算を紹介します

「渋川回生」改革元年予算

議会が注目した重点事業

空家等対策推進事業

拡充 1,043万円

従前の事業に加え、令和8年度は第3期空家等対策計画の策定に向けた空家等実態調査を実施



企業誘致促進事業

拡充 4,683万円

- ・渋川市に進出する企業への補助対象経費にパソコン、プリンターの購入費用を追加
- ・展示会等出展支援補助金を拡充



JR八木原駅周辺整備事業

22億1,183万円

- ・令和10年度までの計画期間
- ・令和8年度は自由通路・駅舎整備工事、駅前広場整備工事、東側用地取得を実施



瀧沢石器時代遺跡保存整備事業

6,807万円

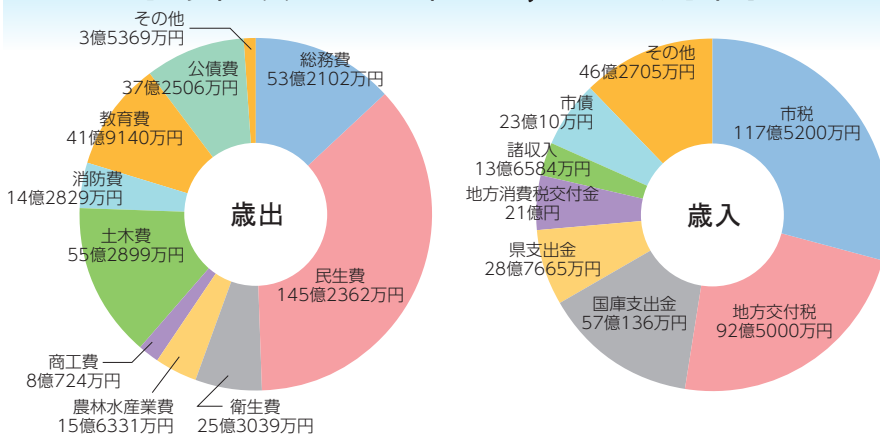
- ・国指定史跡の維持管理
- ・4年計画のうち2年目の令和8年度は造成工事を実施



令和8年度予算の概要

一般会計

予算額 399億7,300万円



※万円未満を四捨五入しているため、予算額の内訳と合計が一致しません

一般会計		399億7300万円	
特別会計	国民健康保険	85億2598万円	
	後期高齢者医療	16億4116万円	
	介護保険	95億7184万円	
	農産物直売事業	172万円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億2097万円	
	小野上温泉事業	1357万円	
	交流促進センター事業	965万円	
特別会計合計		199億8488万円	
企業会計	水道事業	収益的支出 19億6923万円 資本的支出 14億6496万円	
	下水道事業等	収益的支出 26億9084万円 資本的支出 26億6914万円	
	企業会計合計		87億9416万円
	総計(一般会計・特別会計・企業会計)		687億5204万円

令和8年度予算案の 審査・審議



一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算は多数決、そのほかの予算は全会一致で原案のとおり可決しました。

また、一般会計予算可決後、旧赤城キャンプ場のトイレ解体に関する附帯決議が提出され、全会一致で可決しました。

予算常任委員会での主な質疑は次のとおりです。

一般会計

一般会計予算全体について

質疑 過去最大の予算規模となった要因は。

答弁 J R八木原駅周辺整備事業や社会保障給付費の増加、物価や人件費の高騰などによるものです。

登山道維持管理事業

質疑 旧赤城キャンプ場の解体工事と跡地の計画は。

答弁 旧キャンプ場にある管理棟、シャワー棟、トイレ棟、バンガローなど全施設を解体し、簡易仮設トイレを一基設置します。駐車場は引き続き使用できます。



解体せず残すことなどが望まれる旧赤城キャンプ場のトイレ

察・保護を行う児童や一般登山者の利用状況を把握し、今後の環境整備に努めます。

高齢者外出支援事業

質疑 将来的に紙のタクシー利用券は廃止するのか。

答弁 タクシー券に代わり、らくらく交通サービス(MaaS)を活用した交通系ICカードの割引への移行を促進しています。令和9年度をもって紙のタクシー券を廃止し、令和10年度以降は交通系ICカード割引への完全移行を目指します。

大学生等通学応援事業

質疑 通学費補助の対象を、

答弁 36・1kmに拡大した理由は、通学による転出を抑制するため、市内からの通学支援を強化するものです。

空家等対策推進事業

質疑 第3期空家等対策計画の策定に向けた空家等実態調査の実施方法は。

答弁 以前は自治会にお願いしていましたが、自治会の負担軽減のため、業者委託することとしました。

老人クラブ助成事業

質疑 予算減額の根拠は。

答弁 会員数300人弱の減少を見込んでの減額です。

質疑 会員数減への対応は。

答弁 広報等での周知や積極的な声かけ、イベント時の宣伝などに取り組みます。

産後ケア事業

質疑 事業拡大した部分は。

答弁 宿泊利用が可能な施設を増やします。また、7日間の産後ケア利用終了後、さらに支援が必要な方への3日間の訪問支援(ママ応援プラス訪問型)の利用者負担を無料化します。

企業誘致促進事業

質疑 令和8年度から新設

答弁 される推進室の取り組みは、産業用地の創出、市の魅力・立地特性の把握、産業活用資源の掘り起こし、市内企業の経営基盤の安定化支援、市内高校との連携による人材のマッチングなど、効果的・効率的な産業の活性化に取り組みます。

アニメツーリズム推進事業

質疑 事業拡充の理由は。

答弁 県や関係自治体と連携し実施する頭文字Dを活用したインバウンド誘客促進のためです。また、昨年実施した観光需要調査において、アニメツーリズム推進の市の取り組みが不足と提言を受けたためです。



ファンの聖地巡礼が期待されるアニメツーリズム

質疑 大型冷風機の試験導入とは。

答弁 JESSCOアリーナ(渋川三子持社会体育館)に、試験的に1階に4台を設置し、風の影響を受けない競技に使用します。

総合公園整備事業

質疑 令和11年の国民スポーツ大会で軟式野球の競技会場となる総合公園野球場の改修予定は。

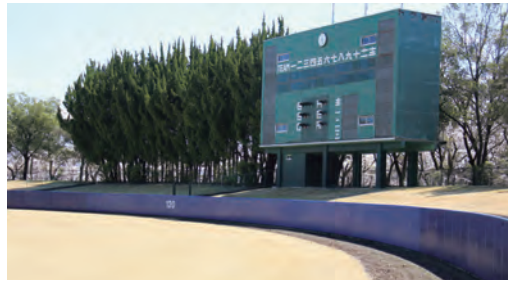
答弁 令和8年度はファウ

※ウォーニングゾーン：野球場でフェンス際の激突を防ぐための目印となる、外野フェンスとフェンスの内側に引かれたラインとの間のスペースのこと。

【答弁】 令和7年度のポイント申請率は、2月20日時点で58・1%です。受診率は60%を目差しています。

国保健診ポイント事業
質疑 受診率向上のため特定健診受診者に渋Payポイントを付与する事業だが、実績と目標は。

**国民健康保険
特別会計**



国民スポーツ大会に向けて
順次改修が進む総合公園野球場

ルポール改修、側溝ふた交換を行い、翌年度以降はバックネット支柱やベンチ内の安全対策、スコアボード一部改修、ウォーニングゾーン拡張を予定しています。

**討
論**

3月定例会で行われた主な討論について概要を報告します。
 討論とは、議案等を議決する前に賛成・反対の意見を述べることをいいます。

「令和8年度 渋川市一般会計予算」

賛成

総合計画に位置づける6つの施策大綱に基づき、バランスの取れた、持続可能な渋川市を積極的につくる予算だと評価する。
 具体的には、次期総合計画策定や新庁舎整備、公共施設の再編統合など、今後の市の方向性を決めていく取り組み、小学校低学年からの英語教育、農業支援、観光誘客など、市の活性化につながる施策が盛り込まれている。
 可決された附帯決議や、予算審議での議員からのさまざまな意見を真摯に受け、市民福祉向上や地域振興、安心安全な生活実現を要望し、賛成する。

反対

学校給食費や子どもの医療費の無償化の継続、加齢性難聴者の補聴器購入補助の継続など、評価できる事業もある。
 一方、小中学校適規模・適正配置の基本計画策定期間の短縮は無理があると言わざるを得ない。
 また、市民の暮らしや地域に根ざした中小・小規模事業者の支援が極めて不十分である。
 国のいう行政改革を進めるのではなく、国の悪政から市民の暮らしを守る防波堤の役割を果たし、どこで生活しても公平・公正な行政サービスが受けられるよう要望する。

原案可決 議案第34号 令和8年度渋川市一般会計予算に対する附帯決議

7款商工費1項商工費4目観光施設費の登山道維持管理事業について、令和2年度に廃止となった旧赤城キャンプ場施設の解体工事費が計上されています。

ここでは、ヒメギフチョウが生息するモロコシ山、矢筈山等に登る中継地として毎年使われています。また、ヒメギフチョウ保護活動の拠点として、ヒメギフチョウを守る会、群馬県、教育委員会の職員が訪れるほか、津久田小学校の児童の野外学習の場でもあり、多くの人が利用している施設です。

来年度予算では、トイレを含め、管理棟、バンガロー棟の当該施設の全てを解体し、解体後は簡易トイレを1基設置予定との答弁がありました。

しかし、現在の利用状況やヒメギフチョウを守る子どもたちの活動促進等を鑑みると、当該施設周辺にトイレはなく、簡易トイレ1基のみでは対応が不十分であり、利用者に支障が生じます。また、子どもたちのヒメギフチョウを守る活動にも支障を来すこととなります。

よって、現在のトイレは引き続き利用できるよう解体しないこと、または、解体する場合は、利用者に不便が生じない数の簡易トイレの設置を強く求めることとし、附帯決議といたします。

令和8年3月25日
群馬県渋川市議会

一般質問

令和8年3月定例会

一般質問 ～14人の議員が 市政を問う～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

※一般質問のタイトルおよび質問内容は質問者の責任において作成しています。

山内 崇仁 議員 P 7

加藤 幸子 議員 P 8

田村なつ江 議員 P 9

後藤 弘一 議員 P 10

福島 丘泰 議員 P 11

茂木 弘伸 議員 P 12

埴田 裕之 議員 P 13

田邊 寛治 議員 P 8

角田 喜和 議員 P 9

中澤 功史 議員 P 10

田中 猛夫 議員 P 11

望月 昭治 議員 P 12

須田 勝 議員 P 13

高澤 幹 議員 P 14

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。映像は各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。



山内 崇仁

渋川市の魅力を発信



移住定住

質問 渋川市に住み続けてもらうための市の取り組み状況は。

市民環境部長 子育て支援策として保育料と給食費の完全無償化や住宅支援、就業支援などさまざまな支援を総合的に取り組むことで定住促進を進めていきます。

質問 渋川市への移住定住の促進について市長の考えは。

市長 渋川市の魅力を積極的に発信し、子育て支援や教育環境の充実、雇用の創出など市全体で取り組み、選んでもらえるまち、住み続けたいまちを目指していきます。

企業誘致

質問 市内各地域の特性に合った企業誘致の考えは。

産業観光部長 インフラ整備の状況や住生活環境、観光資源など、本市の立地特性をPRしながら企業ニーズに即した情報提供に努め、効果的な企業誘致に取り組みます。
質問 渋川市への今後の企業誘致について、市長の考えは。

市長

新設する企業誘致推進室を



伊香保石段アルウィン公園からの眺め
公園に休憩スペースの設置を

主体に、市の強みを生かした幅広い業種の企業誘致を積極的に進めるとともに企業の経営基盤の安定化支援と人材確保に取り組みます。

観光振興

質問 非常に眺めの良い伊香保石段アルウィン公園に、休憩スペースを設置することはできないか。

産業観光部長 休憩スペースの設置は今後調整していきます。アルウィン公園は、石段街・だんだん広場と隣接し、立地条件の良い公園です。多くの観光客が利用できるよう公園の魅力向上に努めます。

一般質問

※インクルーシブ教育：障がいや病気の有無などに関わらず、同じ環境で共に学び合う教育



田邊 寛治

教育現場の現状と課題

質問 教育施策の事業評価は。

教育長 さまざまな施策のP D C Aサイクルに基づく事業評価と改善を徹底し、子どもの可能性を引き出す教育の充実に努めています。

質問 ゆとり教育、生きる力とは。

教育長 実生活の課題解決に生かせる知識・技能、より良い解決策を構築する力、人間性や生涯学び続ける態度を養っています。

質問 幼児教育の現状と今後は。

教育長 幼稚園型認定こども園では、生涯にわたる学習の基礎や社会性を育む時期において、子どもに教育の機会等を保障しています。

質問 市のインクルーシブ教育は。

教育長 教育的ニーズに応じた支援体制の充実、教職員に対する特別支援教育の理解の促進と指導力の向上に努めています。

質問 不登校の現状と対策は。

教育長 学ぶ楽しさを味わえる授業と温かな学級づくり、児童生徒の心の変化を早期に把握するなど、不登校の未然防止に努めています。

質問 保護者対策と教員の負担は。



多様な子どもと一緒に学ぶ「インクルーシブ教育」の推進を



教育長 家庭事情で朝早く登校する児童がいた場合、管理職や教職員が早めに出動して見守り開錠を早める等、柔軟に対応しています。

質問 教員の現状と働き方改革は。

教育長 教職員が心身とも健康に働ける環境を整えるために、市費任用職員の配置や校務支援システムの活用等、対応しています。

質問 今後の教育行政の方向性は。

教育長 子どもたちが持続可能な社会の担い手として幸福な人生を送れる力を育めるよう、教育行政を推進していきたいと考えます。



加藤 幸子

市民の安心・安全を守るために

学校給食

質問 国による小学校給食費の無償化が、国から市への補助金という制度で実現する。物価高騰の中で、必要経費を補助金で賄いきれるか。

教育部長 国からの補助は小学生のみで、一人当たり年間補助額5万7200円、市の小学校給食費は年額6万5400円と、年額8200円が不足しますが、小中学校の給食費の無償化を継続します。

質問 アレルギー等で喫食していない児童の今後の対応は。

教育部長 アレルギーや病気を理由にすべての登校日に各家庭から弁当を持参している児童生徒がいますが、現在補助制度がないため、今後研究していきます。

水道水のPFAS対策

質問 市民団体がPFASの血中濃度測定を行った結果、水道水汚染地域の住民の血中濃度が高いことが明確に判明。汚染地域内の住民のうち希望者には市が血中濃度測定を実施すべきと思うが考えは。

市長 PFASの血中濃度による健康影響は未解明のため、現時点で血液検査は考えていませんが、国で進めている調査研究の動向や結果を注視していきます。

質問 視覚障がい者の投票の状況

総務部長 バリアフリー化していない投票所では、係員の人的介助により対応しています。また、点字で作成した候補者等の氏名掲示は、全投票所に配置しています。

視覚障がい者の投票の状況

質問 視覚障がい者団体が国へ要望している「バリアフリー化や点字での情報提供」などの投票所の環境改善について、市での対応は。

総務部長 バリアフリー化していない投票所では、係員の人的介助により対応しています。また、点字で作成した候補者等の氏名掲示は、全投票所に配置しています。



みんなで食べるおいしい給食



一般質問



角田 喜和

学校がなくなると

地域が寂れる



質問

小中学校適正規模・適正配置で、学校がなくなると地域が寂れてしまうとの、市民から心配する声がある。適正配置後の学校の場所、規模は。校舎等は既存の学校を使うのか、新規に建てるのか。**教育部長** 学校施設の老朽化の現状を考慮すると、原則的には既存施設を長寿命化する改修を実施し、利用していくことになると思われ、既存校のいずれかを候補とする検討が主となります。どの施設を利用するのか、利用する場合いつ改修を行うのか、それ以外とするのか、早期に検討を進めていきます。**スラグ対応は毅然とした対応を**



小中学校適正規模・適正配置の後も地域の特性の尊重を

質問

市は今でも鉄鋼スラグは産業廃棄物と認識している。新古巻公民館建設地での鉄鋼スラグ撤去にかかった経費は、排出者責任がある大同特殊鋼(株)に請求すべきと考える。毅然とした対応を求め

市長

本件に関しては、市と大同特殊鋼(株)の考え方が相違していることにより、費用を負担しても

らうことは極めて厳しい状況であり、協議には時間を要すると想定しています。今後も専門的な視点からの意見を確認しながら、対応を検討していきたいと考えます。

質問 道路の掘削等で新たに鉄鋼スラグ等が発見された際の対応は。

建設交通部長 「鉄鋼スラグを含む材料の対応方針に基づき、基本

の対応について」に基づき、基本協定書で個所の追加を行い対応します。対応に当たっては、群馬県環境部局に確認を行っていきます。



田村なつ江

安心して暮らせる

地域づくり



行政センターと公民館の統合

質問 統合の目的は。

総務部長 地域住民の利便性向上や地域課題の解決、各団体との協働体制の充実など地域づくりの拠点としての機能を高めることです。

質問 市民の声を聞くため行ったアンケートだが、地域や年齢に偏りがあり地域の意見が読み取れない。今後は意味あるアンケートを。

総務部長 本アンケートがすべてということではなく、自治会長からも意見を伺っています。さまざま

な検討が必要であると考えます。

市有施設の統廃合

質問 市有施設の総数、主な施設

分類ごとの施設数は。

総務部長 総数339施設、主な

分類は市民文化系が44施設、スポーツ系が34施設、学校教育系が27

施設、子育て支援系が22施設です。

質問 倒壊の恐れのある市役所本

庁舎の建て替えを最優先にすべき。

質問 北橋行政センターの空きスペースなど既存施設の有効活用を。

総務部長 建物活用に伴う改修費や維持費、市民サービスへの影響を総合的に検討し、費用対効果の高い方法を見極めたいと考えます。

クマ対策

質問 クマ撃退スプレ어의、市民

や必要とする人への配布や補助は。

市民環境部長 特に必要性が高い

方への支援の在り方については、

他自治体の事例や費用対効果を、安

全対策を踏まえ研究していきます。



画像提供：モンベル

クマ撃退スプレ어의配布や補助を

※副読本：文部科学省の検定を受けていない、教科書の補助的な教材



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう

幹線道路の整備とまちづくり

質問 渋川西バイパス開通による

現道活用区間の交通量の見込みは。

建設交通部長 周辺道路からの交

通の転換等が図られた際の推定と

なりますが、市民会館付近で、約

2・2倍の増加を想定しています。

質問 バイパスを通る観光客を渋

川駅周辺の中心市街地に誘い込み、

滞在・回遊させるための施策は。

産業観光部長 バイパス開通によ

る市内交通量の増加をチャンスと

とらえ、イベント支援や大学連携

等による回遊促進に取り組みます。

質問 幹線道路整備による企業誘

致が期待される。工場のほかスモ

ールサイズの企業誘致や空き店舗

の活用等柔軟な戦略を取る考えは。

産業観光部長 空き地や空き店舗

等、産業活用資源の掘り起こしに

努めながら、支援制度と併せた効

果的な企業誘致に取り組みます。

質問 移住者の住まいに空き家の

活用を。空き家所有者に、空き家

バンクへの早期登録を促す施策は。

市民環境部長 空き家無料相談会



バイパス開通を機に観光客を中心市街地へ新たな施策で中心市街地に賑わいを創出



での周知や、家財道具の処分費補助の支援などにより空き家バンクの活用を促進しています。

子どもが自ら学ぶ授業へ転換

質問 ICT活用による学習履歴

分析が教員の業務軽減や指導、児童の学びにどう生かされているか。

教育部長 ドリルの自動採点機能

により教員の採点業務や集計業務

の短縮が図られます。教師がタブ

レットで児童の学習履歴を分析し、

個別の支援、理解の早い子への発

展的な課題の提供など、個に応じ

た学びの充実に生かしています。

地域の文化遺産の継承

質問 自治会が報告した未指定文

化遺産の調査・集約の取り組みは。

教育部長 令和2年度に各自治会

に協力を依頼し、得られた139

件の文化遺産は現地調査を進行中

で、早急な保護措置が必要な場合

は追加で詳細な調査を行います。

質問 市指定史跡白井城址の整備

や安全対策の取り組みは。

教育部長 吾妻川に近い西端は崖

に面し、また、遊歩道を設置した

土塁の一部は竹やぶ等で通りにく

い場所もあります。現地をよく確

認し、見学者の安全に配慮しなが

ら除草等の環境整備を進めます。

質問 国指定史跡瀧沢石器時代遺

跡の保存と活用は。

教育部長 計画に基づき縄文時代

の姿を再現し、その歴史や自然を

学び、体験できるよう整備します。

また植生の復元を市民とともに行

うための「育てよう！縄文の森プ

ロジェクト」に取り組んでいます。

質問 「縄文の森プロジェクト」の

取り組みと今後の展望は。



後藤 弘一

歴史的な文化遺産の

維持や管理とその活用

教育長 市内5つの小学校で1

5年生の児童が近隣でドングリを

拾い、植え付け、苗を育てて数年

後に苗を植える取り組みをします

将来、多くの方が学び、憩える場

所としたいと考えています。

質問 遺跡財産を学校教育(地域・

歴史学習)の場に生かせないか。

教育部長 小学生は北橋歴史資料

館で体験的な学習をし、社会科学副

読本を活用して文化財を学んでい

ます。中学生は社会科学や総合的な

学習で市内の遺跡や古墳、歴史的

文化遺産について学んでいます。



整備が待たれる白井城址

一般質問



田中 猛夫

公共施設等の再編と維持管理

公共施設等の更新財源は

公共施設等の更新に必要な費用は、財源不足が見込まれるか。

総務部長 令和25年度までに全公共施設の更新、維持管理に必要な費用は約2131億円で、充当可能な一般財源をすべて充てても約568億円の不足が見込まれます。

放課後児童クラブWiFi整備

質問 令和8年度より児童が学校からタブレットを持ち帰る。放課後児童クラブのタブレット使用に必要なWiFi環境の整備状況は。また、教育長の見解は。

育都推進部長 放課後児童クラブ23クラブのうち、3クラブがタブレット端末を使用できるWiFi環境を整備しています。

教育長 将来的には、放課後児童クラブでもタブレットが使用できるWiFi環境を整える必要があるのではないかと考えています。

旧渋川大胡線の安全は

質問 八崎・分郷八崎地内の旧渋川大胡線はどのような調査を行い、安全性確保を確認しているか。



Wi-Fi環境の整備が待たれる放課後児童クラブ



建設交通部長

道路パトロール等により、異常が確認された場合に対応を行っています。今後は調査等も必要と考えています。

吉岡バイパスと都市計画道路

質問 市南部地域の振興のため、吉岡バイパス延伸を県が決定した。この道路延伸と合わせサントリー渋川工場南の都市計画道路整備が必要と考える。今後の方針は。

建設交通部長

当該路線は、県道への昇格および早期整備を県へ要望しており、県や吉岡町、市の関係課で情報共有を行っています。



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために

新古巻公民館

質問 新たに加わる行政サービスの機能の内容や今後拡充の可能性は。

教育部長 証明サービスコーナーを設置し、住民票の写しなど各種証明書発行業務を行います。

質問 400人を超える定員のホールが新設される。駐車場や公民館周辺の交通安全対策は。

教育部長 139台の駐車区画を確保し、建物東側には車両の進入を防ぐようポールを設置しました。

質問 イベントの開催や災害時の車中泊避難等で駐車場不足が心配される。西側隣接地取得の検討は。

市長 公民館が新しくなり、開催事業も利用者も増加します。今後の利用状況を踏まえ、使用用途も含め調査・検討が必要と考えます。

公民館職員の人員配置

質問 旧市地区の公民館と旧町村地区の公民館とで職員配置に差があるが、職員配置の基準は。

教育部長 その公民館の設備設置状況などに対応できるよう配慮しており、対象地区の人口規模等に

よる配置基準はありません。

質問 公民館の職員体制の差により、地域のコミュニティスクール推進体制に差が生じないか。

教育部長 学校と公民館との距離などの地域特性等で対応に差が生じることもありますが、公民館の体制による格差はないと考えます。

質問 公平性と教育支援強化の観点から、公民館職員配置を全市的に再検証する考えは。

市長 公民館を含め職員配置には適正な定員管理が必須で、継続的に安定した行政を目指します。



さまざまなサービスが利用でき、南部の拠点として期待される新古巻公民館





望月 昭治

合併20年を迎えて



質問 赤城町滝沢地内と赤城町上三原田地内を接続する県道津久田停車場前橋線のバイパス整備は。

建設交通部長 県に確認したところ、さまざまな観点から整備の必要性について慎重に見極めていきたいとのことでした。

質問 旧刀川小学校の東側を起点とする市道宮田坂線を、県道津久田停車場前橋線と接続する計画は。

建設交通部長 現在は、状況に応じた道路の維持管理をしています。今後は、地元自治会と意見交換をしながら、事業実施の必要性について検討していきます。

質問 赤城山南面国道353号の、赤城町樽地内の樽交差点から利根川を横断し白井地内に至る(仮称)樽バイパスの整備の見通しは。

建設交通部長 期成同盟会で毎年県に要望をしており、地域の産業や医療の発展に期待ができることから要望を継続していきます。

質問 赤城町津久田と上白井の間の利根川を渡る橋りょうの整備は合併時の約束だが、現在の状況は。



整備が待たれるバイパス道路

総合戦略部長 合併後の橋りょう整備については、優先度等を整理し、浅田橋を整備しました。ほかの橋りょう整備は、着手に向けた検討が現在停滞している状況です。

質問 国道353号の溝呂木交差点から溝呂木橋までの区間が狭小である。市で迂回する代替道路を整備する計画はあるか。

建設交通部長 代替道路を建設するには、一級河川天竜川を横断するなどさまざまな課題があることから、今後の財政状況を踏まえて、最善の策を模索していきます。



茂木 弘伸

市役所新庁舎の建設



質問 令和7年度内に新庁舎の建設候補地を決定すると聞いたが。

市長 年度内に決めなかったが課題もあり、新年度に新庁舎準備室を設置し事業を進める中、議員各位等にお諮りし、決めていきます。

質問 現在地での新庁舎建て替えを望むが、その場合の課題は。

総務部長 建築基準法など法令による制限、配置や建物面積、工事エリアの確保など、建設時の制限等がどの程度になるかが課題です。

質問 今後策定する新庁舎整備基本方針における第二庁舎の扱いは。

総務部長 新庁舎整備方針において、第二庁舎、社会福祉センターを含めた既存施設活用の可能性も併せて検討したいと考えます。

質問 前市長が案の一つとしていた、国や県の庁舎との合同庁舎化は白紙に戻して検討を進めては。

市長 新庁舎整備の検討を進めるため、いったん白紙に戻した上で、建設候補地の選定を優先します。

質問 豊秋公民館の老朽化問題

市長 豊秋公民館は市内公民館で



新庁舎の検討に向け調査が行われる本庁舎駐車場

最も古い。建て替えや耐震化は。

教育部長 古巻公民館整備事業が完了した後に、具体的な整備方針の検討を進めたいと考えています。

質問 市役所新庁舎との複合化は。

教育長 市長部局と連携し、検討を行いたいと考えています。

質問 現公民館の事務室は、各種相談や受付をする場でもあるがスペースが狭い。講堂も使い勝手が悪く、いずれも改良工事が必要と思うが、考えを伺う。

教育部長 耐震化や建て替え等の考え方も含めて検討を行います。

一般質問



須田 勝

あなたとふるさとのために



終活支援

質問 赤城町南雲地区の老人クラブ、南雲寿の活動場所に、廃校となった南雲小学校を貸せないか。

総務部長 土砂災害特別警戒区域等に指定され、安全確保の観点から恒常的に人が立ち入るかたちでの貸し付けは難しいと考えます。

質問 一人暮らし高齢者の見守りや、介護保険等に関する初歩的段階の相談や手続きの窓口は。

福祉部長 高齢者の介護や福祉の手続きに関する相談や介護サービスの利用調整などは、地域包括支援センターが行っています。

昭和時代と現在の食生活と食文化

質問 食生活改善推進員により地域の伝統食を子どもたちへ継承を。 **育都推進部長** 「郷土料理教室」等を主催のほか、「親子料理教室」でも協力し、幅広い年代へ郷土食を継承する活動を行っています。

質問 日本の郷土料理、伝統食を子どもたちに伝えるために、学校給食の献立に取り入れては。

教育部長 行事食や郷土料理など



背後の斜面のために利活用ができない旧南雲小学校

を児童生徒に知ってもらうため給食に取り入れており、今後も栄養価を考えながら提供していきます。

山林・森林整備

質問 近年山火事が多発しているが、渋川市の山林、森林の整備はどうしているのか。また未相続を含めた森林の土地所有者の確認は。

市民環境部長 ホームページでの林野火災予防の周知、啓発チラシの配布、巡視活動を実施しています。未相続の場合については、関係者に対し森林状況その他必要な事項の確認を行っています。



埴田 裕之

安心安全に暮らせる

街づくり



子持行政センター周辺整備事業

質問 子持行政センター駐車場の傾いた危険な電柱の撤去、吹屋交番前の市道の仮整備対応に大変感謝する。対応後の市民の反応は。

市民環境部長 電柱については、令和8年1月に撤去しました。市民から「駐車場がすっきりした」、「駐車場に車を止めやすくなった」とのご意見をいただきました。

質問 令和8年度当初予算に子持公民館の増築・改修に向けた基本設計の実施が盛り込まれた。調理場や陶芸施設の整備を待つ声があるが、基本設計には含まれるか。

総務部長 基本設計の考え方には、調理室や陶芸室は含まれていません。今後、利用者の意見を伺いながら、必要とされる機能を確認し、整備を進めたいと考えます。

市内トイレの洋式化

質問 子持総合運動場のトイレは和式であり、子どもたちのために洋式化をお願いした。進捗は。

育都推進部長 利便性の向上と、誰もが安心して利用できる施設環



デジタル弱者救済の検討が必要

境の整備を目的に、多目的広場トイレを洋式トイレに交換し、現在利用ができるようになっていきます。

浪pay事業

質問 多額の税金を投入している事業。キャンペーンのポイント付与対象を市民のみとする仕組みやデジタル弱者を救う仕組みが必要。事業の存続を含め市長の見解は。

市長 浪payについては、まだまだ課題があると考えています。皆さんの意見を聞きながら、よりよい事業となるように検討を進めていきます。



高澤 幹

やすらぎとふれあいに満ちた
ぼつと「なまち渋川市」



渋Pay

質問 渋Payカード利用可能店舗数、食料品の購入可能店舗数は。

情報防災部長

3月13日時点において、渋Payカードの利用可能店舗数が242店舗で、食料品の購入可能店舗数が84店舗です。

質問 登録店舗数は、市民が日常的に複数業種で利用できる状況か。

情報防災部長

渋Pay加盟店の登録店舗数は377店舗で、より便利に利用できるように、加盟店の増加に努めていきます。

質問 市の助成金等の支給方法が渋Payのみ、現金のみ、いずれかの選択制と、事業で違う理由は。

情報防災部長

渋Payの普及促進のため、渋Payでの支給を推進していますが、事業の性質を考慮して支給方法を設定しています。

質問 指定管理施設やデマンドバス「しづのり」の支払いに渋Payを利用できない理由は。

情報防災部長

渋Pay事業実施要綱において、地方公共団体への支払に当たる場合は、利用の対象



同じ「chiica」アプリを使用した地域通貨活用の研究を

外となります。

質問 同じアプリを使用する他自治体の電子地域通貨の研究状況は。

情報防災部長

県内他市と概ね同等の機能を有していると認識していますが、渋Payの更なる普及に向けた運用は今後の課題です。

安全な通学方法

質問 小中学校の適正規模・適正配置に絡めた安全な通学方法は。

教育部長

登下校の見守りの強化や、野生動物対応の指導の充実等、安心して登下校できる通学路の整備と体制づくりに努めています。

議員全員協議会のあらまし

渋川市立小中学校適正規模・適正配置基本方針

昨年12月定例会中の教育福祉常任委員会協議会に報告された基本方針案について、今年2月開催の定例教育委員会の議決を経て正式な基本方針として策定されたため、議員全員に報告されました。

質疑

今後策定する基本計画は、2年かけ策定する予定であったが、策定期間を1年に短縮した。策定手順に支障はないか。

答弁

25年後の人口推計を見越した計画ですが、実際の人口減少は推計以上のスピードで進行しており、早急な計画策定が必要です。議会の協力もいただきながら地域への説明もしっかり行い、策定を進めたいと考えます。

質疑

学校区域ごとの地域のまとまりというものがある。少人数でも学校を残してほしいという地域ごとの住民感情をどう考えるか。

答弁

住民感情は理解しますが、子どもが急激に減少する中、適正な教育環境の確保のためには、合併後の市全体として適正な配置を進めなければならないと考えます。

第1回臨時会のあらまし

(1月19日開催)

国家公務員の給与改定に伴う市職員等の給与の改定

条例改正議案4件をすべて全員一致で可決しました。

一般会計補正予算(第7号)

全員一致で可決しました。主な内容は次のとおりです。

物価高騰対策事業

- ・渋Payポイント8000円相当の全市民への配布
- ・水道料金基本料の減免
- ・子育て世帯への手当の支給

渋川市議会は本会議をインターネット中継・録画配信しています。また、詳しい内容は会議録検索システムをご覧ください。各委員会は録画配信をご覧ください。それぞれ、以下の二次元コードからご覧ください。



本会議中継
(議会放映システム)



本会議会議録
(会議録検索システム)



委員会 録画配信
(YouTube)

行政視察報告

議会運営委員会

日程 1月20日～21日

場所 愛知県知立市

愛知県常滑市

視察事項

- ・オンライン委員会
- ・会議のペーパーレス化
- ・議場設備

愛知県知立市

オンライン委員会開催に向け、令和2年に条例改正を行い、要綱制定や対応マニュアル作成を進め、令和3年2月にタブレット端末を導入しています。



議会運営委員会 行政視察

令和8年6月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8	9	10	11	12	13
				本会議 (開会・議案上程) LIVE	本会議 (議案上程) LIVE	
14	15	16	17	18	19	20
	一般質問 LIVE	一般質問 LIVE	一般質問 LIVE	常任委員会 (総務市民 経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
21	22	23	24	25	26	27
	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会) LIVE			

- LIVE…インターネット中継あり。各委員会は録画配信します。
- 本会議は午前10時から開会します。
- 日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会資料の電子化を進めるとともに、執行部も議会が契約するペーパーレス会議システムを使用し、議会と執行部が同一システムで運用しています。

愛知県常滑市
資料は基本的にデータ配布としつつ、当初予算や決算資料は要望に応じ紙媒体で配布しており、段階的にペーパーレス化が進められていました。

議会往来

2月

▽3日 沖縄県南城市議会が視察来庁(渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例)



令和8年3月定例会において賛否の分かれた表決結果一覧

○：賛成 ●：反対

	中澤 功史	植田 裕之	高野 佳美	高澤 幹	福島 丘泰	後藤 弘一	反町 英孝	板倉 正和	田村なつ江	田中 猛夫	山内 崇仁	田邊 寛治	安力川信之	加藤 幸子	茂木 弘伸	須田 勝	望月 昭治	角田 喜和		
議案第21号 渋川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	/	●	○	●	●	●	●	否決
議案第23号 渋川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決
議案第24号 渋川市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決
議案第34号 令和8年度渋川市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決
議案第35号 令和8年度渋川市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決
議案第36号 令和8年度渋川市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決
議案第49号 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決
議案第51号 令和8年度渋川市一般会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	●	○	○	○	○	●	可決

*安力川議長は表決には参加せず、可否同数の場合のみ裁決します。

令和8年3月定例会の審議結果

選挙

○渋川市選挙管理委員及び補充員の選挙

市長専決処分の報告

○和解及び損害賠償の額を定めることについて(3件)

市長専決処分の報告と承認・・・承認

○令和7年度渋川市一般会計補正予算(第7号)

条例の制定・・・原案可決

- 渋川市災害弔慰金の支給等に関する条例
- 渋川市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
- 渋川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例(議案第50号)

条例の制定・・・否決

○渋川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例(議案第21号)

条例の改正・・・原案可決

- 渋川市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市事務分掌条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市スポーツ推進審議会条例及び渋川市体育施設条例の一部を改正する条例
- 渋川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市立認定こども園条例の一部を改正する条例
- 渋川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 渋川市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市火入れに関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例
- 渋川市消防団条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会委員会条例の一部を改正する条例

令和7年度補正予算・・・原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第8号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 渋川市農産物直売事業特別会計補正予算(第1号)

令和8年度予算・・・原案可決

- 渋川市一般会計予算
- 渋川市国民健康保険特別会計予算
- 渋川市後期高齢者医療特別会計予算
- 渋川市介護保険特別会計予算
- 渋川市農産物直売事業特別会計予算
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計予算
- 渋川市小野上温泉事業特別会計予算
- 渋川市交流促進センター事業特別会計予算
- 渋川市水道事業会計予算
- 渋川市下水道事業等会計予算

令和8年度補正予算・・・原案可決

○渋川市一般会計補正予算(第1号)

人事・・・同意

- 渋川市副市長の選任の同意について
- 渋川市教育委員会委員の任命の同意について(2件)
- 渋川市監査委員の選任の同意について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

その他・・・原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 財産の無償貸付について
- 第2期渋川市過疎地域持続的発展計画の策定について
- 議案第34号令和8年度渋川市一般会計予算に対する附帯決議
- 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書
- 事務調査経費の決議

令和8年第1回臨時会の審議結果(1月19日開催)

条例の改正・・・原案可決

- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例及び渋川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

令和7年度補正予算・・・原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第6号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第3号)

編集後記

星名市長による総額687億円を超える新年度予算を可決し、新年度がスタートしました。

議員の姿が見えない、議会の様子が見えないという声にこたえるため、議会の審議の様子が伝わる紙面づくりに努めました。議員報酬は外部審査会から「責任ある議員活動の実現。渋川市をよくする努力を」と意見が付され、4月から報酬が引き上げられます。残り1年を切った議員の任期、責任を持って全うします。(編集委員 角田 喜和)

議会報編集委員会

委員長 中澤 功史
副委員長 堀田 裕之
委員 高野 佳美
福島 丘 泰
後藤 弘一
山内 崇仁
角田 喜和
板倉 正和